



# がっこうだより

枚方市長尾西町2丁目45番1号 TEL050-7102-9176  
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp  
URL [https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/6-1-0-0-0\\_2.html](https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/6-1-0-0-0_2.html)

枚方市立西長尾小学校 令和5年8月号

<西長尾小学校のめざす児童像>

1. 心豊かな子ども（自他を大切に  
する、思いやりのある子ども）
2. 深く考える子ども（自ら学び、  
考えて行動できる子ども）
3. 健康な子ども

## 2学期も、わくわくできる毎日を

### より良い自分をつくりましょう

☆枚方市立西長尾小学校  
ブログはこちら→



今日から2学期です。夏休みの目標は達成できましたか。夏休みは、宿題だけでなく、いろいろな体験を通して学んだことがたくさんあったと思います。自分がつけたいなあと感じる力も、はっきり見えてきましたか。自分の心にある気持ちや考えを、まわりのお友だちや先生に、話したり、聞いたりしてみましょう。おたがいの言葉が、おたがいを励ます力となっていくですよ。

2学期は、学校生活を舞台にたとえていえば、第二幕目です。物語でいえば読者が物語の世界の中に入りこんでいて、わくわくしながら読み進めているところにあたります。自分が主人公の学校生活も、毎日わくわくしながらすごせるように、自分がどのような主人公になりたいかを考えて、より良い自分を演じていきましょう。

自分の成長がしっかりとつかめることと、毎日の歩みのなかで現れるさまざまな困難をのりこえていく姿がたくさん見られることを期待しています。

## 教育のための社会へのとりくみ — 西長尾小 子どもサポーター

夏休みは帰省する人もあり、故郷で昔をふり返ることも多く、戦争についての新聞などの特集記事やテレビ放送に触れる機会もたくさんあります。昔の社会のようすや過去の戦争を知る機会が持ちやすい時期です。私も、8月中旬には、自分の母に久しぶりに会うことができ、戦時中、空襲を受けたときのようすを聞きました。当時北九州の小倉に住んでいた母はまだ4歳でしたが、焼夷弾が落ちてくる街なかを祖母に手を引

かれて逃げた記憶を語ってくれました。

そんな会話の後、一昔前と現代の、子どもたちの違いについて考えてみたくなりました。そこで、大正から昭和の初めごろの子どもたちの気持ち、友人関係、子どもたちをとりまく大人や社会との関係を知るために、当時を生きた人の自伝や記録などを読んだり、昔の映画（戦前の子どもたちを描いたものや昭和20年代の戦災孤児たちを扱った作品をいくつか鑑賞しました）を観たりして、子どもの描かれ方などを、改めて振り返ってみました。

※参考にしたのは、書物『**蝦蟇の油**』（黒澤明監督の自伝）、『**ヒロシマ・ナガサキ 二重被爆**』（山口 彊さんの被爆体験）、映画は『**生まれてはみたけれど**』（1932年）『**風の中の子供**』（1937年）、『**風の又三郎**』（1940年）、『**蜂の巣の子供たち**』（1948年）、『**鐘の鳴る丘**』（1948・49年）など（すべて邦画）です。一度ご覧になってみてください。

作品について少し紹介します。『**蝦蟇の油**』は黒澤明監督の自伝です。小学校時代、転校した学校で出会った担任の先生から、自分が描いた絵を褒められます。そこから自信がついてものすごく成長できたことが綴られていました。映画『**生まれてはみたけれど**』（小津安二郎監督作品）では、戦前の人々のくらしや子どもが親を思う気持ち、親が子供に対して持っている価値観などをうかがい知ることができました。作品の中で子どもたちが人間的に成長する瞬間が描かれています。『**蜂の巣の子供たち**』は、冒頭に「この映画の子どもたちに心当たりはありませんか」という字幕が出ます。実は、出演しているすべての子どもは本当の戦災孤児自身で、清水宏監督自身が引き取って一緒に暮らしていた子どもたちだったそうです。他の作品にも、普遍性のあるテーマが貫かれていて、考えさせられました。

これらを読み、鑑賞して確認できた共通点があります。それは、子ども自身は純粋で、今も昔も変わらない、ということです。そして、社会が、大人が、子どもを変えてしまうのではないかと強く感じました。現代の子どもたちも、社会や大人の影響を受けていま

<裏面にも記事があります>

す。子どもがより良く育つためにどのようなかかわりが大切なのかを問い続けながら、2学期も教職員一同、自己の錬磨<sup>れんま</sup>に励みます。

今は「社会のための教育」ではなく、子どもたちの健全<sup>すこ</sup>やかな成長と幸福のための「教育のための社会」であるべきです。そんな考えから、コミュニティー・スクールの取り組みが始まっています。子どもたちの「教育のため」に、地域の力を結集<sup>けっしゅう</sup>し生かしていけるよう、少しずつではありますが本校でも昨年より継続<sup>けいぞく</sup>中のコミュニティー・スクールのとり組みとして「西長尾小 こどもサポーター」の活動を継続・拡大<sup>かくだい</sup>していきます。

#### こどもサポーターの活動 1・2年生

毎週水・木曜日の清掃の時間は、こどもサポーターの方々が、1・2年生の清掃活動を支援してくださっています。子どもたちの活動の落穂拾<sup>おとしひろ</sup>い的なことだけでなく、振る舞<sup>まわ</sup>いを褒めていただくこともお願いしています。自己肯定感の高まる瞬間をみんなでつくりたいという思いでご協力いただいています。



### ☆こどもサポーター について

学校で行われる、地域の方や保護者によるボランティア活動を行う人のことをいいます。登録制で参加を募っています（登録は年度が替わっても継続できます）。

- 1) 清掃の時間に校内の必要なところへ配置、児童とともに短時間の清掃活動を行う。……9月6日(水)より開始  
活動日 毎週2回(水・木曜日のみ)  
活動時間 13:10(玄関前集合)~13:40(終了・解散)  
活動内容 用具の確認整理・清掃の指導

- 2) 中休みの時間に校内の子どもたちの見守りを行う。  
……9月5日(火)より開始  
活動日 毎週2回(火・水曜日のみ)  
活動時間 10:15(玄関前集合)~10:35(終了・解散)  
活動内容 子どもたちの見守りや、話の聞き手となる  
(お話を聞いてほしい子どもたちはたくさんいます)

☆お問い合わせや登録については、学校までご連絡をおねがいします。

### 夏休み自由研究・作品展

夏休みに、ご家庭で子どもたちが取り組んだ自由研究・作品展を保護者の皆様へ下記の時間帯でご覧いただく時間を設けています。

日時：8月28日(月) 午後4時~午後5時  
8月29日(火) 午後4時~午後5時  
8月30日(水) 午後4時~午後5時

☆会場管理にはPTAの保護者の皆様にボランティアでご協力いただいています。  
ありがとうございます。

場所：理科室(1~3年生の展示)  
図工室(4~5年生の展示) ※管理棟2階

- ご注意：1) 作品等には触らないようお願いいたします。  
2) 上履きと下履きを入れる袋、保護者証を必ずご持参ください。  
3) 車での来校はできません。  
4) 写真・動画等の撮影はご遠慮ください。  
5) 展示場所以外の教室への出入りはできません。  
6) すべての学級の児童は授業時間内に鑑賞を行います。

### 熱中症事故の予防のために

きおん つづ すいぶんほきゅう どうげこう そとあそ  
気温の高い日が続いています。こまめな水分補給はもちろんのこと、登下校のときや外遊  
びのときなどでは、ぼうし  
帽子をかぶりましょう。

なかやす ひるやす たいいく じゅぎょう うんどう かつどうちゅう  
中休みや昼休みなどでの外遊び、体育の授業、運動クラブの活動中、登下校のときなど

とく ねっちゅうしょう たか そうてい  
では、特に熱中症のリスクが高いことが想定されます。水分補給をしてから、活動しましょう。  
からだ ぐあい むり つた  
身体の具合がすぐれないときには、無理をせず、まわりの人や先生にすぐに伝えてください。

「熱中症予防のための運動指針」に基づいた対応は下記のとおりです。

【危険レベル】(WBGT:31度以上) ⇒運動は原則中止です。

・運動は原則禁止。暑さ指数(WBGT)が31度以上となった場合は、「運動は原則中止」となる。

【厳重警戒レベル】(WBGT:28度以上31度未満) ⇒休み時間にも放送で注意喚起をします。

・持久走(シャトルラン)や全速力で走るなど激しい運動は避ける。  
・熱中症の危険があるので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分補給を徹底する。

【警戒レベル】(WBGT:25度以上28度未満)

・熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。  
・激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。